

SOC100 国際地域概論

1年 3,4クォーター

担当教員	木村 亮, 横井正信, 細谷龍平, 田中志敬, 伊藤 勇, 月原敏博, 生駒俊英, 栗原知子, LEHNER ALBERT JOSEPH JR, KING KELLY JEAN, 小幡浩司
授業形態	講義, 演習
アクティブ・ラーニング	一部導入
単位数	2
曜日・時限	金曜日・1時限

授業概要

グローバル化の中で変容する地域社会の現状と課題について理解する際には、地域から見た視点、および異なった社会的文脈にあるグローバルな視点の双方から諸課題をとらえる必要がある。この授業は、地域社会が直面するさまざまな課題について複眼的な視点から基本的な知識を身につけることを目的とし、2年次以降の専門的かつ実践的な学習を行う前提を形成するものである。

この授業では、国際関係や地域社会の直面する諸側面のうち、おもに政治・経済・文化・社会・生活に関連する7つのテーマ、すなわち、①地域経済とグローバリゼーション、②多様な政治構造、③都市と農村：日本の課題、④少子高齢化と住民生活、⑤文化の画一化と文化の多様性、⑥地球市民社会の発展と役割、⑦多文化共生社会の実現、について、地域とグローバルの両側面から必要不可欠な知識や理解の方法を学ぶことになる。

到達目標

- (1) 地域における政治や経済の基本的な仕組みと現在直面している諸課題について、基本的な知識と課題解決の方向性を理解する。
- (2) 上記の政治や経済の仕組みに基底されながら文化、社会、生活の中で現われるグローバリゼーションの諸課題と課題解決の方向性を探る。
- (3) 地域における政治・経済・文化・イデオロギー・社会・生活の上の諸課題について、グローバル化の流れや社会制度的な違いといった視点から理解する。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

第2回から第11回までの、主に政治・経済等に関する授業では特に定めないが、第12回から第15回までの文化・地球市民社会の発展と役割・多文化共生社会に関する授業では、以下の教科書を使用する。

Steger, M. (2013). *Globalization: A very short introduction*. (3rd ed.) Oxford University Press. 【GS】

Lechner, F. J. & Boli, J. (2015). *The globalization reader*. (5th ed.) Wiley-Blackwell. 【GR】

その他配布資料

授業の方法

第11回までの授業では、講義形式を基本とする。とくに共通の教科書は設定せず、各回の担当教員がレジュメ・資料を配布し、授業を行う。

第12回から第15回までの授業では、授業は原則演習形式で行う。学生にはテキストやビデオなど教材の内容をよく理解させ、質問や発言、および議論を活発に行わせる。

成績評価

7つのテーマ（地域経済とグローバリゼーション、多様な政治構造、都市と農村：日本の課題・途上国の課題、少子高齢化と住民生活、文化、地球市民社会の発展と役割、多文化共生社会の実現）ごとに課題を設定し、レポートの提出を求め、これについて評価する。

成績

80%：課題レポート

20%：授業への積極的参加

授業スケジュール

第1回：科目概要説明 ～授業の目的と、学生に求められていること～

地域社会の現状と課題やグローバル化の時代に直面した我々が考えるべきことの概要を学習する。その中で、グローバリゼーションについては、歴史的な位置付け、および諸理論の特徴に焦点をあて、グローバリゼーションの概念整理を行う。

(担当：木村亮, LEHNER ALBERT JOSEPH JR, KING KELLY JEAN)

第2回：地域経済とグローバリゼーション①

平成バブル以降の世界経済の特徴について、グローバリゼーションとバブルの頻発化という観点から理解する。(担当：木村亮)

第3回：地域経済とグローバリゼーション②

グローバルな産業構造の転換の中で進行する地域の企業の国際展開について学習する。(担当：木村亮)

第4回：多様な政治構造①

日本の国および地方の政治の特徴と現在の動向について、基本的な知識を得る。(担当：横井正信)

第5回：多様な政治構造②

欧米の国および地方の政治の特徴と現在の動向について、基礎的な知識を得る。(担当：横井正信)

第6回：国際関係を考える

国際関係の諸相を概観し、その仕組みと原理について多面的に考える。(担当：細谷龍平)

第7回：都市と農村：日本の課題・途上国の課題①

現在の日本の都市社会と住民コミュニティが抱える課題と解決の可能性について学習する。(担当：田中志敬)

第8回：都市と農村：日本の課題・途上国の課題②

日本の地方の農業および農村が直面する課題と解決の可能性について学習する。(担当：伊藤勇)

第9回：都市と農村：日本の課題・途上国の課題③

アジアの都市と農村の実態について基本的な知識を得る。(担当：月原敏博)

第10回：少子高齢化と住民生活①

急速な少子高齢化が家族関係におよぼす影響について、わが国の具体的な紛争処理をめぐる国際的な動向について学ぶ。(担当：生駒俊英)

第11回：少子高齢化と住民生活②

わが国の子どもや高齢者を取りまく居住の実態と地域支援のあり方やその考え方について、国際的な動きも踏まえて理解する。(担当：栗原知子)

第12回：グローバリゼーションと文化

「文化の画一化」に対する懸念と、「文化の多様性の擁護」についての認識の高まりについて、そこに展開する諸理論、議論について考える。(担当：LEHNER ALBERT JOSEPH JR)

第13回：地球市民社会の発展と役割

環境、医療、食料、貧困、紛争、人権、そして民主主義など、国境を越えた地球市民社会と国際NGOの発展と今日的役割について考察する。(担当：KING KELLY JEAN)

第14回：移民問題と多文化共生社会の実現

移民の原因と現状を世界と日本の比較で捕らえる。さらに、新しい社会への適応・統合、及び多文化共生社会の実現とその課題について考察する。(担当：KING KELLY JEAN)

第15回：Student Mobility と多文化共生社会の実現

世界の高等教育の潮流である『Student Mobility (留学・学生交流)』を概観すると同時に、歴史的な位置付け、および今日的狙いについて考察する。(担当：小幡浩司)

事前・事後学習

- ・ 予習：各回の授業前にネットや文献で授業のテーマに関連する情報を調べておくこと（1時間程度）。
- ・ 復習：テーマ毎に設定されるレポート作成に備えて授業内容を整理すること（1時間程度）